

嘉麻市社協だより

No.183

発行日:2025.8.1

えがお

世代を超えて集う
地域団らんの場所

～嘉穂らいむ保育園が開催する地域食堂～



地域食堂とは…

無料または低額で食事を提供し、子どもや高齢者など、地域の様々な人が食事をともしめる場所です。孤食を防ぎ、地域住民との交流を深める役割もあります。




社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒821-0012 嘉麻市上山田502番地6

TEL 0948-43-3511 FAX 0948-43-3450

 <https://kama-shakyo.com>

 info@kama-shakyo.com

 <https://www.facebook.com/kama.swc>

※QRコードから、本会のホームページにアクセスすることができます。



誰にも話せなかつた……

「ダブルケアラー」が抱える

複合的な課題



近年、晩婚化や晩産化を背景に、育児と親の介護を同時に担う『ダブルケア』の問題が深刻化しています。ダブルケアとは、育児と介護だけではなく、支援する本人を含めた家族や親族等の関係性において、複数のケア状態が同時に発生していることを指し、ダブルケアをおこなう人は、ダブルケアラーと呼ばれています。日本では、推計25万人がダブルケアの問題に直面しており、身体的・精神的に疲弊してしまうだけでなく、経済的な負担が大きくなったり、家族や周囲の人に悩みを話せず、孤立してしまったりと、多くの課題があります。

本会でも、「子どもも小さくて、親の介護もあるから仕事に行けない」「配偶者も自分も病気で、受診が多く、経済的に

苦しい」という相談を受けることがあります。そこで今回は、実際にダブルケア状態にある人が、どのようなことに悩んでいるか知りたいと思い、子育てと介護のダブルケアを経験されたAさん、Bさんに話を聞きました。

Aさんの話

Aさんとの出会いは、民生委員から「生活福祉資金の償還のお知らせを持って訪問した際、連帯借受人であるAさんが体調を崩し、仕事に行くことができていない」との相談を受けたことがきっかけでした。

Aさんは、小学生の三男を一人で育てながら、近所に住む父親の介護をしています。長男は、市外で一人暮らしを

しており、同居する次男も早朝から夜遅くまで仕事で忙しくしているため、話す暇がありません。三男には病気があり、子育てにも多くの不安を抱えています。近所に住む父親は肺気腫を患い、3年ほど前から在宅酸素を使用しています。ベッド柵に掴まれば、自力で起き上がることは

できますが、下肢筋力が低下しており、転倒することが増えてきました。転んでしまうと、一人で起き上がることができず、トイレに行くときは、昼夜を問わず、Aさんに電話がかかってくるため、その都度介護しなければなりません。

Aさんの妹や弟とは、親の介護に対する考え方が異なるため、協力が得られず、A

さんの負担は大きくなるばかりでした。そんななか、Aさん自身もうつ状態となり、ふさが込むことが増え、さらには、脳にも病気が見つかりました。「親の介護、子育て、自分の病気と、いろいろなことが重なってしまい、精神的に疲れてしまいました。なにをどこに相談すれば良いのかわからなかつたし、誰かに話したいけれど、家庭の悩みを人に話すことに抵抗感もありました」との気持ちを吐露されました。

Bさんの話

関節リウマチで手足に痛みや痺れのあったBさんの母親は、障がいのある兄との二人暮らしでした。Bさんも買い物や調理などの援助はしていましたが、母親が家事全般を担い、兄の生活を支えていました。そんななか、母親が腸閉塞で入院し、身体機能が大きく低下したため、兄の支援だけでなく、母親にも介護が必要な状況になりました。

した。近くに住んでいたBさんは、母親の退院を機に、小学生と中学生の子どもを連れて半年以上実家で生活しました。Bさんは「仕事をしながら、受診の付き添いや入浴介助など、とにかく必死でした。娘たちも学校から帰ると、家の手伝いをしてくれたので助かりましたが、介護のことをどこに相談すればいいかわかりませんでした」と、当時は振り返りました。

AさんとBさんの話からわかるように、ダブルケアは突然始まり、これまでの生活が一変します。ダブルケアラーの約8割を30代・40代が占めており、仕事をしている人も多く、そのうえに育児と介護が重なってしまいました。現在では、柔軟な働き方ができるよう、育児・介護休暇の制度が法改正により整備されつつありますが、今後も少子高齢化、晩婚化・晩産化が進み、さらに、家族関係の希薄化も相まって、ダブルケアラーはますます増加す

ると予測されています。

また、福祉政策は、高齢者、障がい者、児童分野など対象者別に制度化されているため、ダブルケアのように様々な課題が混在していると、相談窓口が多岐にわたり、全体的な調整役は当事者に一任されてしまう実情があります。最近では、多職種で横断的支援に取り組むこととなっていますが、まだまだ縦割りの考えが残っています。

私たち支援者は、相談者の課題を多面的に見ることで、世帯全体の課題把握ができ、多職種の役割を知った上で連携することが、よりよい支援につながると感じました。また、相談者が地域で孤立しないよう、公的な支援機関だけでなく、身近なコミュニティのなかでも悩みを打ち明けられるようなつながりを地域に広げていきたいと思っています。

地域住民が集う 多世代交流と憩いの場

「嘉穂らいむ保育園が地域食堂を開催」

令和7年5月18日（日）、社会福祉法人夢創^{ゆめつくり} 嘉穂らいむ保育園で初めて開催された地域食堂について、岡本洋子園長と家庭支援主任保育士の村瀬美佐^{むらせみさ}先生に話を伺いました。

嘉穂らいむ保育園では、子どもたちが安全に遊べ、地域住民との交流を図ることや保育園をもっと知ってもらえることなどを目的に、月に1回、日曜日に園庭を開放していますが、「もっと地域に貢献できることはないか」と考え、地域食堂を始めることにしました。同法人の理事の一人がデザイナーで、自身がデザインしたポスターやのぼり旗を寄付してくれて、嘉麻市の学校や近隣のスーパー、商店などに貼り、インスタグラムでも情報を載せて周知しました。

当日は早朝から、卒園生の家族、知人、法人関係者など計8名が材料の切り込みや配膳などを手伝ってくれて、とても助かったそうです。食材は園児が保育園の畑で作った野菜を始め、協賛してくれた市民や企業からお米やお菓子、食器などが寄せられたほか、精肉店は食材を安く提供してくれました。

この日のメニューはおにぎり、豚汁、フルーツなどで、18

歳未満は無料、大人は200円となっており、午前11時になると、在園生や保護者だけでなく、のぼり旗を見た近所の方も、続々と食堂に集まり始め、賑やかな雰囲気の中、笑顔で会話しながら食事をしていました。

今後は、毎月1回のペースで食堂を開く予定にしております、岡本園長は「参加された80代の女性から『毎日一人で食事をしていますが、今日はみなさんと一緒に、とても楽しかったです』という声を聞くことができ、開催して本当に良かったと思っています。子ども以外にも親御さんや近隣住民が遠慮なく集い、この場を通じて元気になってももらえるように『嘉穂らいむ ちいき食堂』をこれからも続けていきたいです」と話されました。



報告及び収支決算報告

令和6年度、6つのセンターで受けた相談総数は前年度より411件増えて8,311件でした。新たに開設したかま終活サポートセンターにも、終活全般に関することや遺言書の作成、死後事務などについて、70～80歳代の方を中心に多くの相談が寄せられ、老後の生活に不安を感じている方が多くいることを改めて感じました。また、各センターに寄せられる相談は、複雑多様化しており、一つの機関だけでは解決困難な場合がほとんどで、様々な支援者・関係機関との連携、協働が課題解決へ大きくつながることを感じる機会が多くありました。また、令和7年度は法人設立20周年の節目の年となるため、記念事業準備委員会を開催して実施計画を作成し、準備を進めてきました。

経営状況は、資金収支計算書の事業活動収支差額は黒字でしたが、施設設備等による収支及びその他の活動による収支は赤字となり、当期末支払資金残高は昨年度より減少しています。

この事業報告及び収支決算については、6月11日(水)に開催された第89回理事会において承認され、6月26日(木)に開催された第9回定時評議員会で承認されましたので、その概要を報告します。

法人経営部門 総務係

●会議

- ・会長・副会長会議の開催 5回
- ・理事会の開催 4回
- ・定時評議員会の開催 1回
- ・臨時評議員会の開催 3回
- ・評議員選任・解任委員会の開催 2回
- ・法人設立20周年記念事業準備委員会の開催 4回
- ・内部監査の実施 1回
- ・外部監査の実施 13回

●職員人権研修

- ・テーマ「福田村事件が問いかけたことは～歴史に学ぶ人権研修～」 参加者11人

●飲料水自動販売機設置事業

- ・販売本数 1,490本

●本会建物(稲築社会福祉センター及び稲築老人憩いの家敷地内)解体工事及び原状回復工事

- ・施工期間 令和6年5月20日～5月31日
- ・施工完了確認 令和6年6月3日

●独自事業

- ・チャイルドシートの貸出 37件
- ・福祉機器(車いす)貸出 33件

●子育てリユースセンターの運営

- ・延べ利用者 270人
- ・寄付物品 3,801点 リユース品数 997点



かま終活サポートセンター

●相談件数 121件

●終活に関する啓発

- ・終活に関する出前講座の開催 3件

●終活相談会の開催

- ・開催回数 6回
- 相談件数 14件

●終活について考える研修会

- ・開催回数 3回 のべ参加者数 45人

●かま老後の安心サポートによる支援

- ・契約者数 1名 支援回数 3回



かまひきこもり相談支援センター

●相談件数 105件

●啓発事業 センターチラシの配布

●意見交換会への参加 4回

かまボランティア・市民活動センター

●ボランティア・市民活動センターの運営

- ・相談件数 123件
- ・新規登録件数 ボランティア団体2グループ 個人ボランティア1人
- ・ボランティア運営委員会の開催 2回

●災害ボランティアセンター事業

- ・災害時における協力体制に関する協定の締結 稲築・山田・嘉穂ライオンズクラブ
- ・嘉飯桂地区社協職員を対象とした研修会の実施 1回 参加職員10人
- ・能登半島地震に伴う珠洲市 災害ボランティアセンター 支援活動 職員2名のべ13日



総合相談・地域づくり推進係
かま生活支援・相談センター

●相談窓口の開設

- ・福祉なんでも相談(24時間365日)受け付け 2,192件
- ・弁護士による法律相談 39件
- ・公証人による無料相談 11件

●会員の募集及び拡充

- ・会員数 820件

●生活支援体制整備事業の推進(市受託事業)

- ・中学校区での協議体の開催 稲築西9回 稲築東11回 碓井11回 山田11回 嘉穂11回
- ・全体会1回
- ・win win事業の推進 特技を活かしての活動 1件

●地域福祉部の拡充・活動支援(稲築地区)

- ・地域福祉部に対する活動助成 19件
- ・福祉推進委員会の開催 6回 延べ出席者数 107人
- ・福祉推進員代表者会の開催6回 延べ出席者数 23人

●ふれあい・いきいきサロンの拡充・活動支援

- ・設置数 36か所(稲築17か所、碓井8か所、山田5か所、嘉穂6か所)

●地域支えあい事業の推進

- ・提供回数 4回 提供時間 22時間
- ・利用会員数 48人 協力会員 27人

●社会福祉法人の社会貢献活動を広げるための事業推進

- ・かま福祉ネットワーク委員会加入法人 14法人22施設
- ・かま福祉ネットワーク委員会の開催 3回
- ・かま福祉ネットワーク委員会での支援 4件
- ・ふくおかライフレスキュー事業による支援 4件

●広報活動の推進

- ・広報紙「えがお」の発行 4回
- ・SNSによる情報発信 15回

●在宅介護者支援事業

- ・在宅介護者の集い定例会 11回 延べ参加者 32人
- ・認知症家族の集い定例会 11回 延べ参加者 33人

●空き家管理住まいるサービスの推進

- ・管理家屋 5軒 基本サービスの提供 62回
- ・オプションサービスの提供 4回

●バス待合所の管理(稲築地区)

- ・継続して管理するバス停 27か所

●共同募金運動への協力

- ・福岡県共同募金嘉麻市支会が実施した街頭募金、戸別募金、職域募金、法人募金等への協力



かま権利擁護センター

●相談件数 3,397件

●日常生活自立支援事業の推進

- ①福祉サービスの利用援助及び金銭管理
 - ・新規契約件数 20件 利用者数 54人
- ②書類等預かりサービス
 - ・新規契約件数 3件 利用者数 8人 保管物品 18点

●本会独自の地域福祉権利擁護事業の推進

- ①金銭管理・生活支援サービス
 - ・新規契約件数 4件 利用者数 6人

●その他権利擁護支援の実施

- ・支援員会議の開催 12回
- ・権利擁護支援 運営委員会の開催 4回
- ・地域福祉権利擁護事業 運営審議会の開催 2回

●法人後見等の実施及び積極的受任

- ・受任者数 8人(成年後見5人 保佐3人)
- ・活動回数 160回 活動時間 226時間25分
- ・保管物品 11点
- ・定期監査の実施 4回

かま自立相談支援センター

●自立相談支援事業(必須事業)

- ・相談件数 2,373件
- ・継続相談・支援回数 959回
- ・支援プランの策定 37件
(自立支援26件 家計改善支援11件)
- ・支援調整会議の開催 12回

●就労支援

- ・情報提供 101回
- ・一般就労につながった件数 5件

●家計改善支援事業(任意事業)

- ・相談件数 20件
- ・継続相談・支援回数 329回

●生活福祉資金貸付事業

- ・特例貸付 利用者への聞き取り調査
電話調査件数322件、実人数166人
- ・通常貸付 相談件数633件 貸付件数 23件
貸付総額 8,392,000円

●フードバンク事業

- ・食品及び物品の協力件数 41件
- ・食品を提供した延べ回数 37回
- ・物品を提供した延べ回数 6回

●無料職業紹介所

- ・常用求人登録件数 43件
- ・求人登録企業 8件



令和6年度 一般会計資金収支計算書

●事業活動による収支

収入	
会費収入	996,000
寄附金収入	860,318
経常経費補助金収入	42,511,560
助成金収入	61,380
受託金収入	37,357,654
貸付事業収入	0
事業収入	2,337,326
負担金収入	90,442
受取利息配当金収入	35,932
その他の収入	399,866
事業活動収入計	84,650,478
支出	
人件費支出	65,020,104
事業費支出	8,759,138
事務費支出	7,134,941
貸付事業支出	0
助成金支出	1,734,500
負担金支出	497,000
その他の支出	0
事業活動支出計	83,145,683
事業活動資金収支差額	1,504,795

●施設設備等による収支

(単位:円)

収入	
施設整備等収入計	0
支出	
固定資産取得支出	1,446,600
固定資産取得支出除却・廃棄支出	1,595,000
施設整備等支出計	3,041,600
施設整備等資金収支差額	▲ 3,041,600

●その他の活動による収支

収入	
積立資産取崩収入	71,393,875
サービス区分間繰入金収入	0
その他の活動収入計	71,393,875
支出	
積立資産支出	75,423,450
サービス区分間繰入金支出	0
その他の活動による支出	2,560,200
その他の活動支出計	77,983,650
その他の活動資金収支差額	▲ 6,589,775

●予備費支出	0
●当期資金収支差額合計	▲ 8,126,580
●前期末支払資金残高	91,788,084
●当期末支払資金残高	83,661,504

法人経営 INFORMATION

第89回理事会

＜開催日＞令和7年6月11日(水)

- 【議案第314号】 次期理事候補者の定時評議員会への推薦について
- 【議案第315号】 次期監事候補者の定時評議員会への推薦について
- 【議案第316号】 次期評議員候補者の評議員選任・解任委員会への推薦について
- 【議案第317号】 補欠評議員選任・解任委員会委員の選任について
- 【議案第318号】 次期評議員選任・解任委員会委員の選任について
- 【議案第319号】 令和6年度事業報告及び収支決算について 監査報告
- 【議案第320号】 令和7年度第一次補正予算について
- 【議案第321号】 第9回定時評議員会の開催について
- 【報告第104号】 高額寄付について
- 【報告第105号】 定款第21条第4項に係る理事会報告事項について

第90回理事会

＜開催日＞令和7年6月26日(木)

- 【議案第322号】 会長及び副会長の選定について
- 【議案第323号】 各委員会の委員選出について
- 【報告第106号】 高額寄付について

第15回評議員選任・解任委員会

＜開催日＞令和7年6月16日(月)

- ・次期評議員の選任について

第9回定時評議員会

＜開催日＞令和7年6月26日(木)

- 【議案第132号】 次期理事の選任について
- 【議案第133号】 次期監事の選任について
- 【議案第134号】 令和6年度事業報告及び収支決算について 監査報告
- 【議案第135号】 令和7年度第一次補正予算について

新理事・監事・評議員の紹介

令和7年6月26日(木)に開催された第9回定時評議員会で新理事・監事が選任され、同日午後開催された第90回理事会において、会長・副会長が選定されました。

●新理事・監事

任期: 令和7年6月26日から令和8年度会計年度にかかる定時評議員会の終結の時まで(令和9年6月開催予定)

※敬称省略

役職名	氏 名	選出区分	所属団体
会 長	坂 口 清 春	学識経験者	—
副会長	野見山 利 三	地域福祉推進委員会選出	稲築地域福祉推進委員会
〃	野見山 桂 子	学識経験者	—
理 事	是 松 きくゑ	地域福祉推進委員会選出	碓井地域福祉推進委員会
〃	中 村 裕 介	地域福祉推進委員会選出	山田地域福祉推進委員会
〃	平 嶋 加代子	地域福祉推進委員会選出	嘉穂地域福祉推進委員会
〃	河 部 順 吉	住民組織の代表的性格団体・組織	嘉麻市行政区長連合会
〃	古 賀 稲 子	当事者団体の代表的性格団体・組織	山田障がい者を持つ家族の会トロッコの会
〃	永 富 容 子	ボランティア活動を行う代表者、団体・組織	朗読・コア
〃	今 宮 優 介	社会福祉施設等の社会福祉事業を営む団体の代表者	かま福祉ネットワーク委員会
〃	笹 尾 俊 朗	民生委員・児童委員	嘉麻市民生委員児童委員協議会
〃	永 島 祐 樹	行政職員	嘉麻市福祉事務所 子育て支援課
監 事	鬼 丸 和 久	社会福祉事業について学識経験を有する者	—
〃	大 田 岱 次	財務諸表等を監査しうる者	—

令和7年6月16日(月)に開催された第15回評議員選任・解任委員会において、23名の方が新評議員に選任されました。

●新評議員

任期: 令和7年6月26日から令和10年度会計年度にかかる定時評議員会の終結の時まで(令和11年6月開催予定)

※敬称省略

氏 名	選出区分	所属団体
辻 田 廣 光	各地域福祉推進委員会代表	稲築地域福祉推進委員会
西 野 眞奈美		
渡 邊 美千代		碓井地域福祉推進委員会
田 中 一 幸		
松 岡 康 則		山田地域福祉推進委員会
赤 間 秀 人		
大 倉 直 樹		嘉穂地域福祉推進委員会
森 田 信 代		
栗 野 良 一	老人クラブ連合会	嘉麻市老人クラブ連合会
横 山 利恵子	障がい者団体	嘉麻市手をつなぐ育成会
山 田 恵 子	女性団体	かま男女共同参画推進ネットワーク
大 里 泰	その他の当事者団体	嘉麻市認知症家族の会「こころ音の会」
大 屋 正義	地域住民代表	嘉麻市行政区長連合会
大 里 華 代	社会福祉に関する活動を行う団体	福岡県いやしのケア赤十字奉仕団なごみ
田 中 マスミ		オレンジサロン「ニコニコ会」
宮 崎 裕	民生委員・児童委員	嘉麻市民生委員児童委員協議会
原 口 真 幸	社会福祉施設	社会福祉法人嘉穂郡社会福祉協会
靱 井 剛 士	福祉サービス事業者	社会福祉法人夢創
田 淵 敬 三	小中学校教職員	嘉麻市小・中・義務教育学校校長会
木 下 祐 彦	高等学校教職員	福岡県立稲築志耕館高等学校
上 村 美智子	社会福祉行政関係者	嘉麻市福祉事務所子育て支援課
藤 田 義 輝	地域福祉推進に必要な地域の主要な団体	嘉麻市社会福祉協議会福祉推進員会
松 岡 まゆみ	学識経験者	—

かまボランティア・市民活動センター情報

かまボランティア・市民活動センター
TEL:0948-43-3511 FAX:0948-43-3450

このコーナーでは、かまボランティア・市民活動センターに登録している個人の方やグループを紹介しています。第7回は「朗読・コア」さんに話を伺いました。

No.7 ろうどく 朗読・コア

Q1. 活動内容を教えてください。

A. 平成13年から活動を始め、現在7名のメンバーが所属しています。月2回定例会を開催し、メンバー間で発音・アクセントなどに関する勉強会を行なっています。また、広報嘉麻や議会だより、社協だより「えがお」、小説、エッセイなどを録音し、市内の視覚障がい者の方々にテープを届けています。

Q2. 活動する上で気を付けていることを教えてください。

A. 活動当初は読むだけで精一杯でしたが、読み方の練習を繰り返し、経験を重ねる中で「聴き手に直接語りかけるように伝えること」を意識するようになりました。アクセントや文章の区切り方には特に気を付けています。

「朗読・コア」では、一緒に活動していただける方や録音テープの配布を希望される方を募集しています。
詳しくはかまボランティア・市民活動センターまでお問い合わせください。

Q3. 活動をしていて良かったこと、大変なことはありますか？

A. テープを聞いてくださっている方からお褒めの言葉をもらうと読むことが誰かの役に立っていると実感でき、嬉しくなるとともに活動を続けるエネルギーになります。また、文章の意味を理解しながら読むため、知らなかったことを知ることができ、勉強になります。大変なことは、録音する際に室内のエアコンの音や外で走る車の音などが入ると録り直しになってしまう点です。これまで複数の公共施設をお借りし、ストレスなく録音できる環境を探してきましたが、適した場所はなかなか見つからず、苦慮しています。

Q4. 今後の目標を聞かせてください。

A. 視覚障がいの方はもちろん、高齢者などの読むことが難しい方も含めて、聴いてくださる方が少しでも増えたらいいと思っています。「朗読・コア」の活動を1人でも多くの方に知ってもらい必要がありますので、積極的に広報していきたいと考えています。



成年後見 Q&A



Q

任意後見契約の効力はいつから発生しますか？

A

認知症、知的障がい、精神障がいなどによって、本人の判断能力が不十分な状態になった場合に、本人、配偶者、四親等内の親族、任意後見受任者の申立てにより、家庭裁判所が「任意後見監督人」を選任することによって効力が発生します。このときの本人の判断能力は、法定後見で言えば、少なくとも「補助」の要件に該当する場合です。

平時からの顔合わせが 連携を深めることにつながる

災害協定団体意見交換会を開催

令和7年5月20日（火）、ふれあいハウス会議室にて災害協定団体意見交換会を開催し、嘉麻市防災対策課・市民課、飯塚青年会議所、稲築・山田ライオンズクラブ、本会職員の総勢10名が参加しました。この会議は、災害が発生した際にスムーズな連携を図るために、平時から顔の見える関係性を築いていくことを目的としており、今年度から始めました。

大雨や台風、地震等により甚大な被害が発生し、嘉麻市災害対策本部から要請があった場合には、本会が災害ボランティアセンターを設置します。嘉麻市が作成している嘉麻市災害対策本部設置規程に基づき、災害ボランティアセンターの運営に関する相談は、市民・ボランティア班となる市民課と連絡調整を図ることや市民の困りごとの内容によって各対策部へつなぐことを確認しました。

飯塚青年会議所からは、人的・物的支援の他、様々な専門団体が所属していることから重機やICTなどの技術系の協力が可能であること、ライオンズクラブからは、朝倉地区に資機材を保管している倉庫があるため、災害時に要請があれば、提供ができるとのことでした。また、市内には76名のライオンズクラブの会員がいるため、本市において高齢者等の行方不明者情報が出た際に要請を受けて捜索することができるとの話がありました。

次回は秋頃に2回目の意見交換会を予定しています。各団体の組織や活動内容を互いに知り、災害時のスムーズな連携へつなげるとともに、それぞれの強みを活かした災害支援活動について考えていきたいと思っています。



知らないと危険！リチウムイオン電池発火事故の防ぎ方

私たちの周りには携帯電話やタブレット、掃除機、電動自転車など充電して使う便利な機器が増えています。それらにはリチウムイオン電池等の小型充電式電池が内蔵されていますが、発火や爆発といった事故も増加しています。その主な原因は、リチウムイオン電池が落下することにより破損したり、高温な場所での使用や保管、水濡れなどによって発熱やショートを起こすことにあります。そこで今回は、発火事故を起こさないための対策を紹介します。



発火事故を起こさないための対策

高温多湿な場所に放置しない

特に夏場の車内は高温になるため、モバイルバッテリーや携帯電話を長時間放置するのは避けましょう。

異常時はすぐに使用をやめる

異常な発熱や膨張、変形が見られた場合は、すぐに使用を中止してください。高所からの落下や強い衝撃を受けた場合はひび割れ等がないか、使用時に異臭・異音がないかを確認しましょう。電子機器が水に濡れた場合は利用を中止して水分をふき取り、また、本体内部まで濡れている可能性もあるため、十分に乾燥をさせてから使用できるか確認してください。乾燥をさせる際は直射日光にさらしたりドライヤーをあてるのは危険です。異常にいち早く気付くために充電は普段から目視できる場所で行いましょう。

正しい方法で処分・リサイクルを行う

リチウムイオン電池等の小型充電式電池は家庭ごみ（不燃物）としては処分できません。廃棄するには、リサイクル協力店に持ち込む方法と自治体のルールに従って処分する方法があります。一般社団法人JBRCのホームページで回収協力店を検索できます。また、嘉麻市では、各庁舎にリサイクルボックスが設置されています。廃棄の方法等については、嘉麻市役所のホームページをご覧ください。



一般社団法人JBRCの
回収協力店検索ページ



嘉麻市役所小型充電式
電池の回収について

【中益】

親族 佐藤 みさ子 様
故 佐藤 キヨノ 様
親族 豊福 眸子 様
故 豊福 英之 様

一般寄附

【枝坂】

枝坂町内会第21組 様

【下牛隈】

矢羽田 泰江 様

【市外】

嘉穂の名水愛好者一同 様

物品寄附

【子育てリユース】

百々谷 疋田かおり 様
市外 福岡 綾 様

【アルミ缶】

漆生南部 市原登志彦 様
漆生東 匿名 様
〇春 高木久美子 様
平第二 西坂 勝正 様
六四田 老人クラブ 様
百々谷 山中 輝美 様
尾浦第一 石井 元彦 様
天神 愚童の庵 様

【リングブル】

天神 島田 睦男 様
下宮 三好 邦央 様
下牛隈 矢羽田泰江 様
平第二行政区 様
鴨生北町行政区8組 様
(有)小西モータース 様

【古切手】

山野第二 古賀 絹江 様
山田慈恵会 やまだきしろ 様
牛隈小学校 様
教育ナビゲーション(株) 様
かま手話の会 様
嘉麻市役所 税務課 様
嘉麻市福祉事務所 様
生活支援課 様
高齢者介護課 様

あなたの会費が、
社協の地域活動を
支えています

会員として、次の方々に

ご加入いただきました。

(敬称を省略させていただきます。)

(順不同で掲載しています。)

4月1日～6月30日受付分

【漆生本村】漆生本村行政区
(27〇)

【漆生南部】(横上瀧組(5〇))、
石脇聰、浜田和仁、岩田勇治、
宇野考道、宇野洋子、西田幸
子、西田松次、西岡博子、聖匠
会、田中麗子、松宮憲司、松宮
順子、大庭清勝、奈須真弓、松
田明子、佐藤勝美、大野順子、
石山洋子、藤井タキ子、篠原久
子、手島美恵子、吉野絹子、束
村芳枝、宮崎美智子、中村妙子
【〇春】吉田文平(2〇)

【鴨生第二】鴨生第二行政区
(20〇)

【枝坂】藤野靖子、橋本玲子、川
端美恵、中村修一、小田勇雄、
東義隆、甲木睦也、田中祐資、

阪田幸之助、辻田由利、朝倉英
紀、中村敏幸、能登原尚代、志
水宗利、福井徹、平野千里、和
田勝雄、乗富英美、朝比奈昌
二、志水慎吾、千代田由紀生、
西坂和子、田島勝子、田中英
美、宮原由美、中谷研一、中村
時和、馬場敦志、清家治俊、草
野忍、鶴元明子、土屋洸二、宮
崎誠、園田喜久、辻在成、麻生
光晴、跡部静代、谷〇富美枝、
上田歌子、笹栗孝助、畑山広
光、出嶋浩二、森章枝、尾畑千
鶴子、前橋シゲ子、高下妙子、
古賀徳松、白土京子、辻塚律
子、橋三千治、浅田清美、満田
福二、永恵正美、奥迫陽子、
石田利夫、松園勇、神崎敏幸、
枝坂行政区4組

【熊ヶ畑第二】金崎文子、笹尾
農幸、笹尾シズヨ、笹尾実、伊
藤浅男、丸山基樹、大塚剛史、
藤浅男、丸山基樹、大塚剛史、
大里清美、金崎寛治、笹尾俊
朗、大里清己、伊藤洋子
【熊ヶ畑第二】大里和久、大里
美郁、大里みずき
【尾浦第二】吉丸公隆、吉丸慎
也、吉丸あけみ
【神幸】原田豊介、原田敦子、井

上政子、萩井百合子、樋口豊、
植上芳子、村上曙生、松岡ツ
ヤ子、植上礼子、盛永澄江、長
与泰三、中場清子、樋口毅、
小山英昭、渡辺純一、有吉章
代、小屋野治、大里タツ子、森
昌史、松岡敦子、此経久仁男、
松岡広明

【天神】島田久子、島田睦男、
武谷節夫、井上智子、松岡一
彦、松岡由美、松岡梅香、赤木
トヨミ、岩崎洋子、岩崎義治、
高橋武士、中野達雄、森田信
子、鎌田ヨリ子、和田悦子、松
岡幸子、吉国厚子、田上真由
美、木下俊明
【本町】鷺合典子
【木城】松尾明江
【中央】渡辺進
【昭和】伊藤美穂(2〇)

【中山田下】中山田下老人ク
ラブ「元氣かい」
【下牛隈】匿名
【市外】新治聡介、山下あゆみ
(2〇)
【団体】筑豊・紙芝居文化の会

ふるさとへの
手紙
No. 183

京都市在住
なかざわ ゆりこ
中澤 由利子さん
旧碓井町出身

秋風を感じながら…

私が京都に来て、今年で30年目を迎え、気がつけば生まれ育った故郷で過ごした日々より京都での生活の方が長くなっていました。

結婚後も京都で保育士の仕事を続け、現在も嵐山の近くの保育園に勤務しています。そして、園児の遠足の引率で渡月橋まで行き、景色を眺めながら、「中学校の修学旅行で来た所なのになあ」と不思議な気持ちになることがあります。

私が生まれ育った故郷には、平山八幡宮があり、毎年9月に秋祭りがあります。私は幼い頃から、この秋祭りに行う平山獅子舞が大好きで、笛の音色や太鼓の音を

聞くとワクワクしていました。

時代の流れと共に、女の子も太鼓打ちに出られるようになり、ましたが、私達の子どもの頃は、男の子でなければ太鼓打ちには出ることが出来ず、とても憧れていましたし、祖父にも私が「男の子だったなら…」と言われていたことをよく覚えています。

長年、我が家から秋祭りの太鼓打ちで出ることはありませんでした。

そんな我が家にも嬉しい出来事がありました。遠方に行っても我が息子をお祭りの太鼓打ちに出して頂くことができたのです。当時4歳だった息子をお祭りに出したことがとても嬉しかったようで、衣装をつけている孫の姿に目を細めていた亡父の姿が忘れられません。

そして、今でも秋風を感じると、故郷の秋祭りの事をふと思い出し、私の頭の中で聞き慣れた笛の音色や太鼓の音が浮かんできます。

そして、「なんだかお祭りに帰りたいな」「また獅子舞がみたいな」と言いつつ気持ちになり、そんな故郷があることに感謝です。

編集後記



しんじ

理事・監事・評議員の一斉改選が行われ、6月26日より新体制となりました。新役員、新評議員のみなさまとともに法人経営に取り組んでいきたいと思ひます。



さかもと

「嘉穂らいむ ちいき食堂」は、先生方の地域に貢献したいという思いと、賛同してくれた企業や市民の協力によって成り立っていると感じました。



よしだ

P8で紹介している朗読・コアのお一人は本を読むことが好きで、朗読を続けることに生きがいを感じているそうです。活動が始まって24年。もっと多くの方に聞いてもらえるといいなと思いました。



かく

育児も介護も経験のない私は、ダブルケアの悩みをAさん、Bさんから聞くまで、その生活が想像できませんでした。まずは、相談を受ける側が相手の立場に立って、その方の生活を想像しながら、話を聞くことが大切だとあらためて感じました。



ながすえ

モバイルバッテリーなどは2年程度を目安に買い替えを行うと良いそうです。私も古くなったモバイルバッテリーの処分を行おうと思います。

社協だよりクイズ



「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で図書券(千円分)を2名の方にプレゼントします。

問題

3ページでは、嘉穂らいむ保育園の取り組みを紹介しています。今後、食堂を月1回開催予定ですが、その名前は何でしょう？

- (1) 嘉穂らいむ えがお食堂
- (2) 嘉穂らいむ こども食堂
- (3) 嘉穂らいむ ちいき食堂

応募方法

①クイズの答え、②広報紙の感想、③郵便番号・住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号をご記入の上、令和7年10月31日(必着)までにハガキ、またはEメールにてご応募ください。

送付先

〒821-0012 嘉麻市上山田502番地6
嘉麻市社会福祉協議会
E-mail: tiiki@kama-shakyo.com

前号の
クイズの答え

(1) ほっとけんばいの輪づくり
7月からほっとけんばいの輪づくり市民講座がスタートしています。ぜひ、ご参加ください。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。